名古屋市教育委員会定例会

平成 26 年 9 月 4 日
午後 2 時 00 分
教育委員会室

議 案

- 第 76 号議案 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価について
- 第 77 号議案 平成 27 年度名古屋市立幼稚園園児募集要項について
- 第 78 号議案 名古屋市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- 第 79 号議案 名古屋市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
- 第 80 号議案 名古屋市総合計画 2018 について
- 第 81 号議案 委員長の選挙について
- 第 82 号議案 委員長職務代理者の指定について

出席者

野 田 敦 敬 委員長
服 部 はつ代 委 員
梶 田 知 委 員
福 谷 朋 子 委 員
小 栗 成 男 委 員
下 田 一 幸 教育長

総務部長始め、事務局職員24名

(野田委員長)

ただ今から、教育委員会定例会を開催いたします。

議事運営についてお諮りいたします。第78号議案から第80号議案までは、名古屋市教育委員会会議規則第6条の規定に基づき、非公開にて審議し、会議録につきましても、議会に上程されるまでの間に限り、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(野田委員長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。

それでは、第76号議案「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価について」を議題といたしますので、事務局の説明をお願いします。

(佐野企画経理課長)

それではお願いいたします。76号議案でございます。教育に関する事務の管理・執行状況の点検・評価につきましては、7月17日に協議題としてご協議をいただいたところでございます。今回は最終報告書の案として、まとめさせていただきました。お手元の報告書の97ページまでは、前回ご協議いただき確定した教育委員会として行った点検及び評価の部分でございます。これにつきまして、学識経験者等に委嘱した知見委員6名にご意見を伺い、外部の視点から意見・助言をいただくとともに、評定を付していただきました。恐れ入りますが、98ページをお開きください。知見委員の皆様からご意見をいただいた内容を「第2章学識経験者による評価」と題し、「施策の基本的方向」ごとに要点筆記として取りまとめ、収録しております。

1ページはねていただきまして、99ページをご覧ください。一番上のグレーの箱の中に、「知見委員による評定」を示してございます。施策1の場合は星2つです。右側の「施策2」のページをご覧くださいますと、星2.5という評定になっております。このように、各委員が異なる評定を付した場合は、原則その平均値を評定といたしたところでございます。また、評定の下にいただいたご意見の要約を記載しております。その中で冒頭に●、あるいは◎を付したものがございますが、これは、知見委員の皆様よりご指摘いただいた課題のうち、主だったものには●を、そのうち特に重要と考えるものにつきましては、◎を付してございます。なお、本日は、ご議論の参考としていただくため便宜的に●、◎を付してありますが、本報告書を議会等で最終的に公表する際には、全て○で表記する予定でございます。また、ご意見の後にご発言をいただいた知見委員のお名前を記載しておりますが、こちらについても削除する予定でございます。

次にこの報告書と別綴じの、右肩に「参考」としてあるA3の資料をご覧ください。こちらは各施策の参考数値及び評定を一覧にしたものでございます。一番左には、各施策の成果指標の内容及び基準値、また25年度の実績値と26年度の目標値を示しております。その右には24年度と25年度の決算額を、各施策ごとに合計したものを記載いたしました。さらにその右には、教育委員会及び知見委員の評定を付すとともに、それぞれの知見委員の皆様が付していただいた評定を一覧にしてしております。ご参考にご覧いただければと思います。

これらのご意見は、教育委員会としての点検・評価とともに、今後の教育振興基本計画の推進、並びに次期教育振興基本計画の策定にあたりまして、役立ててまいりたいと考えております。なおこの報告書につきましては、9月下旬に議会へ報告しますとともに、名古屋市公式ウェブサイトや市民情報センターにおいて、市民の皆さまに公表する予定でございます。説明は、以上でございます。よろしくご審議のほどお願いいたします。

(野田委員長)

説明が終わりましたので、ご意見、ご質問はございませんでしょうか。

特に知見委員の皆さんに意見聴取をしていただいた 98 ページ以降のところ、その前のところはすでに終わっておりますので、98 ページ以降のところでは何かございますでしょうか。3 種類の記号で、◎が特に重要ということで 3 段階になっております。知見委員による評価が、星 3 つによる評価を上回っているところは気にならないんですけども、下回ってしまっているところも数か所ありますので、その辺り特にどうでしょうか。例えば、103 ページの「誰もが楽しく通うことのできる学校づくりを進めます」のところが、教育委員会の評価は星 2 つで、知見委員さんの評価が星 1 つになってしまっていて、その意見を見ますと、特にという部分で二つ目が◎になっておりますので、発達障害対応支援講師・支援員の派遣率が低いというところから、体制を充実させていただきたいということで星が 1 つという状況になってしまっていますけれども、これは 48 校でしたっけ、発達障害対応支援講師・支援員が派遣されているのは。

(佐野企画経理課長)

支援員につきましては、25 年度は 48 人、ちなみに今年度は 54 人となっております。

(野田委員長)

前年度の結果を見ていただいているので、48 校というところを、全体で約 360 校あるのに対して少ないではないかということですね。確か次期の計画では、平成 30 年度までに 100 ぐらいにするんですしたっけ。

(佐野企画経理課長)

はい。

(野田委員長)

次期の計画に反映していくということですね。他のところでいいですか。

(小栗委員)

施策 6-1 のところでいいですか。吉田委員の意見がかなり強力に反映されて、こういう評価になったのでしょうか。

(佐野企画経理課長)

今回 6 人の委員さんをお願いしたんですけども、全部を評価していただくのはなかなか大変だろうということで、大体お一人 6 施策ずつぐらいやっただいて、たまたまこの施策 6-1 の特別支援教育に関わる場所は、吉田委員一人で評価をしていただいたということになりますので、結果的に吉田委員の星 1 つという評価がそのまま反映をされているという状態でございます。

(野田委員長)

できたら2人ぐらいに見てもらえると良かったですね。17項目でしたっけね、全体で。3人のところもありますので、それぞれ専門性があるので難しいとは思いますが、それでも。できたら2人ぐらいずつ見ていただくと良かったかなと。そういうご指摘ですよ。

(小栗委員)

そのとおりです。

(野田委員長)

では今後の検討課題としていただきたいと思います。他よろしいでしょうか。

知見委員の方々にはご多用の中、膨大な資料に目を通してご意見をいただきましたので、ぜひ次期計画に活かしていけたらと思います。それでは他にご意見もないようですので、第76号議案につきましては、原案どおり可決してよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(野田委員長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。

続きまして、第77号議案「平成27年度名古屋市立幼稚園園児募集要項について」を議題といたしますので、事務局の説明をお願いします。

(坂野教職員課長)

第77号議案「平成27年度名古屋市立幼稚園園児募集要項について」お願いいたします。1枚はねていただいて、1ページが要項になっております。もう1枚はねていただいて2ページ、3ページをご覧くださいながら説明させていただきたいと思います。

まずは募集人員等についてでございます。子ども・子育て支援新制度、平成27年4月から始まるものですが、それを受けた名古屋市の幼児教育の全体計画について検討中ということで、諸々方向性が定まっていない段階でありますので、募集人数などについては昨年度と同じといたしました。若干詳しく申し上げますと、3歳児につきましては、1学級の園は25人、2学級の園は20人2クラスの40人を募集いたします。4歳児についてですが、平成26年度から全園で定員を35人から30人に変更いたしました。従いまして、4歳児募集人員は、1学級の園については30人から3歳児定員を引いた5人、2学級の園につきましては60人から3歳児定員を引いた人数となっております。なお、2ページの下備考の欄にありますように、1学級あたり5人までは加算して受け入れることができるという弾力的な方法を継続いたしまして、4歳児の待機幼児が増えることがないようにいたします。

続きまして日程でございますが、応募期間は10月14日火曜日から10月17日金曜日までの4日間とし、入園面接は10月21日火曜日、22日水曜日に実施をいたします。なお、募集人員を超える応募者があった場合には、10月27日に公開抽選で入園予定

者を決定いたします。以上でございます。よろしくご審議をお願いいたします。

(野田委員長)

説明が終わりましたので、ご意見、ご質問はございませんでしょうか。

今話がありましたように、まだ法案の対応策がはっきりしていないので、来年度は従来どおりの募集ということですね。

よろしいでしょうか。特にご意見もないようですので、第 77 号議案につきましては、原案どおり可決してよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(野田委員長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。

(坂野教職員課長)

記者クラブへの資料提供でございますが、明日 9 月 5 日金曜日に行いますので、それまではこの件につきまして、ご配慮をお願いいたしたいと思っております。

第 78 号議案から第 82 号議案までは非公開にて行われたため、名古屋市教育委員会会議規則第 12 条の規定により、会議録は別途作成。

(野田委員長)

それでは、第 81 号議案「委員長の選挙について」を議題といたします。選挙の方法については指名推薦で行いたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(野田委員長)

それでは、指名推薦によって選ぶことといたしますので、どなたか推薦をお願いいたします。

(梶田委員)

服部委員を委員長に推薦いたします。

(野田委員長)

梶田委員から推薦がありましたが、いかがでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(野田委員長)

ご異議なしと認め、服部委員を委員長に決定いたします。

続きまして、第 82 号議案「委員長職務代理者の指定について」を議題といたします。
第 1・第 2 委員長職務代理者を指名推薦で指定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(野田委員長)

それでは、指名推薦によって指定することといたしますので、どなたか推薦をお願いいたします。

(小栗委員)

第 1 委員長職務代理者に梶田委員を、第 2 委員長職務代理者に福谷委員を推薦します。

(野田委員長)

小栗委員から推薦がありましたが、いかがでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(野田委員長)

ご異議なしと認め、第 1 委員長職務代理者に梶田委員、第 2 委員長職務代理者に福谷委員を指定いたします。

それでは、服部委員から委員長就任のご挨拶をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(服部委員)

ただ今教育委員長にご推挙いただきました服部はつ代でございます。教育委員長という大任を受けまして、本当に身の引き締まる思いでございます。昨今の教育行政については世間から大変厳しい目で見られておりますけれども、私もこれまで3年間教育委員として携わらせていただきまして、皆さん一生懸命やっただいているなと思っております。今後は現場の先生方のご意見ですとか、子どもたちの意見ですとか、保護者の方のご意見に耳を傾けつつ、色々なことを進めていけたらいいのではないかなと考えております。今後とも事務局の皆さま方、そして委員の皆さま方の協力を得

て頑張っていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(野田委員長)

ありがとうございました。それでは私からも一言ご挨拶をさせていただきます。

9月のまだ4日ですので、実はまだあまり退任をするという気分にはなっておりません。本当に何が起こるか分からない昨今ですので、まだそんな気分になれないというのが本音でございます。大学教員は結構自由人なものですから、なかなか責任のある立場で働くことが今までございませんでしたので、皆さま方の事務局の方を向いて座るという責任をですね、日に日に感じて、大変良い機会を与えていただいたなど個人的には思っています。本当に私の在任期間に色々なことが起こり、本当に皆さんが力を合わせて対処いただいたなどというふうに思っておりますし、本当に皆さま方の支えですね、何とかここまでやってこられたなど思っております、感謝しております。ありがとうございました。

これで、本日予定の案件は全て終了しました。教育委員会定例会を終了します。

午後2時33分終了

名古屋市教育委員会定例会

平成 26 年 9 月 4 日

午後 2 時 00 分

教育委員会室

議 案

- 第 76 号議案 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価について
- 第 77 号議案 平成 27 年度名古屋市立幼稚園園児募集要項について
- 第 78 号議案 名古屋市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- 第 79 号議案 名古屋市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
- 第 80 号議案 名古屋市総合計画 2018 について
- 第 81 号議案 委員長の選挙について
- 第 82 号議案 委員長職務代理者の指定について

出席者

野 田 敦 敬 委員長
服 部 はつ代 委 員
梶 田 知 委 員
福 谷 朋 子 委 員
小 栗 成 男 委 員
下 田 一 幸 教育長

総務部長始め、事務局職員24名

(野田委員長)

それでは、第78号議案「名古屋市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について」と第79号議案「名古屋市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について」は一括して議題といたしますので、事務局の説明をお願いします。

(五味澤総務課長)

第78号議案「名古屋市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について」と、第79号議案「名古屋市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について」を一括してご説明申し上げます。平成27年4月1日から施行が予定されている「子ども・子育て支援新制

度」において、幼保連携型認定こども園の認可基準、並びに特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の確認基準を条例で定めることとされたため、当該基準を定める条例を制定するものであります。

教育委員会に関することといたしましては、まず「名古屋市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について」でございますが、名古屋市立幼稚園は来年度幼稚園のままでございますが、もし将来的に幼保連携型認定こども園に移行する場合は、この基準の適用を受けることとなります。次に「名古屋市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について」でございます。これは、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関して、国が定めた基準を基本としつつ、「なごや子ども条例の理念にのっとり運営すること」を追加したり、「防犯及び事故の防止に関し必要な措置を講じること」を追加するなど、本市の実情に応じて必要な規定を設けるものであります。名古屋市立幼稚園は来年度「子ども・子育て支援法」で定められた「特定教育・保育施設」として、この基準の適用を受けることとなります。よろしくご審議をお願いいたします。

(野田委員長)

説明が終わりましたので、ご意見、ご質問はありませんでしょうか。

第78号議案は、来年度につきましては該当しないけれども、その後は可能性があるのではないかということです。第79号議案の方は該当するわけですがけれども、本市の実情に応じて国の基準に条例で第7条に渡るものを追加するという事です。いかがでしょうか。

特にご意見もないようですので、第78号議案及び第79号議案につきましては、原案どおり可決してよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(野田委員長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。

それでは子ども青少年局職員の皆さまはご退室ください。ありがとうございました。

【子ども青少年局職員退室】

(野田委員長)

続きまして、第80号議案「名古屋市総合計画2018について」を議題といたしますので、事務局の説明をお願いします。

(佐野企画経理課長)

第80号議案「名古屋市総合計画2018について」でございます。本市の次期総合計画として策定中の「名古屋市総合計画2018」につきましては、さる5月の教育委員会で一度ご報告させていただいた計画案に基づき、6月に教育子ども委員会において所管事務調査を

施し、また6月18日から7月17日にかけて計画案についてパブリックコメントが行われたところがございます。それらの意見を踏まえ、今回の9月定例会に上程される議案がまとまり、教育委員会の意見を求められますので、よろしくご審議のほどお願いいたします。

お手元にあります資料の「総論」、「施策・事業」、「変更箇所一覧」が9月の教育子ども委員会にて審議いただく資料になります。計画の内容につきましては、5月の教育委員会で一度ご報告させていただいておりますので、本日は前回からの主な変更点を中心にご説明をさせていただきます。

はじめに「総論」をご覧ください。「総論」は「計画策定の考え方」、「名古屋を取り巻く状況」、「長期的展望に立ったまちづくり」、「都市像の実現に向けた施策・事業」から構成されておりまして、この部分につきましては、前回からの修正はほとんどございませんでした。

続きまして「施策・事業」という冊子をご覧ください。計画に掲載されました44の施策のうち、教育委員会が関係する15の施策を抜粋した資料となっております。施策ごとに2ページでまとめた「現状と課題」、「めざす姿」、「施策の展開」、「成果指標」につきましては、教育委員会に關係する部分に下線が引いてあります。次いで「施策を推進する事業」につきましては、教育委員会が所管する事業のみを抜粋して掲載してあります。この「施策・事業」のうち、計画案の時点から修正した箇所につきましては、お手元のもう一つの資料の「変更箇所一覧」に別にまとめておりますので、こちらをご覧ください。教育委員会が關係する部分では、主な変更点が3点ございます。資料の1ページをご覧ください。1点目は施策9に記載しております「不登校に対する取り組み」の事業概要の欄でありますが、この部分の修正で、所管事務調査におきまして、「不登校児童生徒に対して親が子どもに会わせないような場合でも、もっと頻繁に家庭訪問をするなど働きかけてほしい」という意見をいただいたことを踏まえ、もとよりそのような趣旨で取り組む事業でございますので、事業概要に「学校がきめ細かく対応できるよう」という文言を追加し、位置づけをより明確にいたしました。同じく1ページのところで、2点目でございますが、新規に事業を追加するものでございます。パブリックコメントにおいて、市民から「計画にICT教育を掲載してほしい」というご意見をいただいたこと、また学校現場からも強い要望を受けていることを踏まえまして、改めて教育委員会として力を入れていきたいと考え、「ICT教育の充実」という事業を新たに追加いたしました。2ページをお願いいたします。3点目は施策34に掲載しております「キャリア教育の推進」の事業概要の修正でございます。所管事務調査におきまして、「キャリア教育の目的は人材育成のためというより、社会的・職業的自立といった広い意味の捉えのほうがかぶさわしいのではないか」という意見をいただいたことを踏まえ、事業概要の表現を「社会的・職業的自立に向けた能力や態度を育て、自分らしい生き方を実現していく子どもを育てるため」と修正し、事業のねらいを明確にしたところがございます。主な修正は以上の3点ですが、それ以外にもデータの時点修正や軽微な文言修正をさせていただいております。

説明は以上でございます。よろしくご審議のほどお願いいたします。

(野田委員長)

説明が終わりましたので、ご意見、ご質問はございませんでしょうか。

これも5月にこの場で説明を受けておりましたが、その後にパブリックコメント等がありまして、一部を修正するという事です。「総論」については修正がありませんので、教育委員会が所掌の15の施策のうち、3つに変更があったということです。施策9は所管事務調査によりこのように修正され、施策10はパブリックコメントより追加、施策34は所管事務調査により事業概要が修正されたということです。いかがでしょうか。

施策10のICTについては、予算がらみのことになると思いますけれども大丈夫なんでしょうか。

(佐野企画経理課長)

現年度でもある程度の金額をかけているんですけども、やはり充実していくということになりますと、それ相応のお金が必要となってくるということは承知しておりますが、今後予算要求していく中で努力していきたいと考えております。

(野田委員長)

わかりました。

(小栗委員)

「施策・事業」の21ページ、「図書館における市民1人当たりの貸出点数」のところですが、5.29、5.7、5.7となっておりますが、たまたま先般札幌市に視察に行かさせていただいて、読書離れがあるので、例えば朝読書をするとかですね、そういうようなことを推進されて、その効果のグラフを見てみると飛躍的に皆さんの図書館の貸出ですとか、読書への親しみというのが上がっていたというものを見させていただきました。名古屋市としてですね、本を読むとか、それが結果的に貸出点数につながるかどうかわかりませんが、何かそういった取り組みがあるといいかなと思っていたのですが、いかがでしょうか。

(浅野鶴舞中央図書館長)

今年度の達成目標が5.41という数字がございまして、昨年度5.29ということで今大変苦戦をしている状況です。やはりスマホとか出版事情等が低下しているという状況の中で、なかなか貸出点数を上げていくということは非常に難しいということがあります。全国の指定都市の館長会においてもこの話題で議論をしたんですけども、基本的に新しい図書館ができるとかそういったことでないとですね、なかなか実態として上がっていないというのが現実でございます。私どもとしては数値目標に取り組んでいるわけですが、劇的な改善というのは難しい状況だと思っております。

(小栗委員)

名古屋市としてももう少し読書を活性化させようという方向にはいくんでしょうか。

(浅野鶴舞中央図書館長)

子どもの読書の取り組みということで生涯学習課とも連携をしておりますし、私どもとしても学校図書館との連携とかそういったことでですね、少しでも増えていくようにと取

り組みを行っております。

(野田委員長)

子どもの国語力のこともありますので、ぜひこの辺は重点的に取り組んでいく必要があると思います。他よろしいでしょうか。

(服部委員)

12ページのところで、不登校対策に関するところですが、今年度子ども適応相談センターのサテライトができたので見学をさせていただいたのですが、子どもさんの適応指導をする施設と教育相談をする施設がかなり離れておりまして、子どもさんが行ったり来たりが大変みたいですし、職員も大変なんですね。サテライトの運営と書いてございますけれども、今後どうしていくのかということも検討していただきたいなと思いますし、浄心の子ども適応相談センターも、不登校のお子さんが多くて満杯状態なんですね。ここに挙げていただいているので、もう少し今後この辺のところを検討していただけたらと思っております。

(森学校教育部長)

おっしゃるとおりで、浄心の方が本当に満杯状態なものですから、まずできるところからということで笠寺にサテライトをつくって、結果としては今までと離れた地域にできたことによって、近くにあるなら行きたいというお子さんを掘り起こせたといいますか、より手を差し伸べられたという効果はありました。ただ施設的にはそのために作った施設ではないものですから色々不便を抱えています。今後サテライトのような施設についても、どういう場所にどういうものをつくったらいいのかも含めて検討していきたいと考えておりますし、もうちょっと抜本的なもの、これは議会等でも答弁されておりますけれども、総合的な施設というものも検討しているところでございます。

(服部委員)

よろしく申し上げます。

(野田委員長)

他よろしいでしょうか。

修正部分については特にご意見ございませんでしたので、第80号議案につきましては、原案どおり可決してよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(野田委員長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。

午後 2 時 33 分閉会